

令和５年度第２回青梅市文化財保護審議会会議録

日 時

令和５年１１月１日（水） 午後２時００分～午後４時３０分

会 場

青梅市役所議会棟３階大会議室

出席者

（委 員）

稲葉会長、山本副会長、馬場委員、沖川委員、保坂委員、
棚橋委員、久保田委員、三戸委員

（事務局）

橋本教育長、森田部長、北村課長、小峯係長、岡本主任、
高野主任

欠席者

（委 員）

西村委員、守田委員

開会（事務局）

１ 教育長あいさつ

２ 報告事項

（１）指定文化財の現状変更等について

事務局から、市指定史跡武蔵御嶽神社鹿柵設置に伴う現状変更等について説明。

質疑・応答・意見

【委 員】武蔵御嶽神社の鹿柵設置について、資料の地図の茶色の線は何なのか。

【事務局】地形図の等高線である。

（２）令和５年度指定文化財保存修理事業の進ちょく状況について

事務局から、都指定有形文化財旧吉野家住宅土壁等修繕など６件の

令和５年度修理事業について進ちょく状況を説明。

質疑・応答・意見

【委員】東京都で補助金が出るようであるが、土壁の修理は補助対象となるが、茶畑の撤去および芝生化は補助対象なのか。

【事務局】今年３月に策定した保存活用計画で掲載している事項であるため、補助対象となる。

(3) 旧吉野家住宅保存活用計画意見交換会の開催結果について

事務局から、旧吉野家住宅の活用に向け、意見交換会の開催結果について説明。

質疑・応答・意見

【委員】意見交換会で多かった意見は何か。

【事務局】教育機関の出席者から、授業の教材として活用したいといった意見が多かった。

【委員】意見聴取は今後も行うのか。意見はどう反映するのか。

【事務局】意見交換会は定期的に開催したいと考えている。意見は事務局で分類し、審議会で協議事項として挙げたい。

【委員】指定文化財なので、文化財保護審議会で諮ってほしい。

【事務局】承知した。

【委員】子育てサークルや障がい者施設などは新町地区の団体なのか。

【事務局】そうである。

(4) 青梅市指定有形文化財「市川家日記」の寄贈について

事務局から、市指定有形文化財「市川家日記」が個人から当館に寄贈されたことについて説明。

質疑・応答・意見

【委員】市川家日記は指定文化財になっているが、配布資料の中にある宿谷家日記はどういったものか。指定について考えているのか。

【事務局】現在は明治６年の記録のみが翻刻されており、宿谷家日記の全体像が掴めていないが、地元でも引き続き翻刻に取り組んでいきたいとのことである。指定文化財に進めるかどうかは、

今後、審議会でも協議していきたい。

【委員】市川家日記の旧所有者の家には、これ以外に資料は残っていないのか。

【事務局】過去に目録を作っており、旧所有者にも他に資料が残っていないか確認している。今回は、指定文化財 7 冊の日記のほかに、未指定 3 冊の日記の合計 10 冊の寄贈を受けている。

【委員】紙資料なので、マイクロフィルムやデジタルカメラで撮影するなどデータ化をした方が良い。

【委員】宿谷家日記について、解読作業を始めて間もないが、今後将来、青梅市史史料集として作成していただくとありがたい。

【事務局】今後の検討課題としたい。

【委員】文化財ニュースで、「著者」となっているが、中世以前の歴史研究では、日記などの記録を書き留めた人物は「記主」とするのが一般的である。著者とはそれが著作として公刊ないし発表された場合の呼称である。ここでは記主の方が良いと思う。

【委員】言葉の認識のズレがあるといけないので、用語集を作り、指導員に配った方が良い。

【事務局】御意見として頂戴する。

(5) その他

質疑・応答・意見

特になし。

3 協議事項

(1) 青梅市指定有形文化財の指定にかかる答申案について

事務局から、「絹本着色根岸典則像 小林天渕筆・根岸典則讃」の指定文化財の答申案について説明。

質疑・応答・意見

【委員】状態が綺麗なので、今のうちに修理を行った方が良い。

【委員】資料のデジタル化も検討した方が良い。多くの人々に関心を持ってもらえと思う。

【委員】参考資料の「根岸家画像」などの出典はどこか。

【事務局】根岸家に伝わる画像で、現在は当館所蔵である。

【委員】指定名称の問題は難しい。例えば、着色の「着」は著作の「著」となっているところもあるが、「着」に直している自治体もある。また、当初は「根岸典則画像」としていたが、国では画像と呼ばないというのが通例である。例えば金剛寺の重文は画像となっていない。新しく指定する場合は、重文などに合わせる必要があった。既存の指定文化財の名称変更は慎重になった方がよい。なお、資料の中の「良好な状態であり」を取り、添付資料の「根岸典則画像」の「画」を取る形が良い。

【事務局】修正する。

【委員】原案通り可決とします。

(2) 令和6年度事業計画（案）について

事務局から、令和6年度の事業計画（案）について説明。

質疑・応答・意見

【委員】開館50周年記念展の内容について、代表的な資料等をピックアップしてとあるが、郷土博物館が開館するに至った経緯についても紹介してほしい。

【事務局】開館経緯については、当館の場合、文化財保護事務も行っていたので、重ねて紹介できればと思う。

【委員】開館50周年記念展の図録は作るのか。

【事務局】開館50周年記念展では、図録も刊行したいと考えている。

【委員】岩蔵住居跡は柵を更新するのは分かったが、保存会がいるのか。所有者は誰なのか。

【事務局】管理は地元自治会で行なっている。岩蔵住居跡は民有地である。

【委員】青梅線開通130周年展と開館50周年記念展では、講演会を企画しているか。

【事務局】青梅線開通130周年展は、青梅線沿線自治体で協力して講演会を行いたいと考えているところである。

【委員】開館50周年記念展の講座は、開館までの経緯や、かつての

文化財保護活動を知っている方をお願いすると良い。

【事務局】御意見として参考にさせていただきます。

(3) 指定文化財の指定候補等について

事務局から、下山八幡神社の鳩や飯綱権現騎馬像などの文化財について説明。

質疑・応答・意見

【委員】御岳山の金井家文書は調査が終わっているので、指定文化財に向けて検討してもらいたい。また、山田早苗に関する『永久田家務本傳』などの古文書や、嶮谷先生之碑も検討できるのではないか。

【事務局】御岳山文書については寄託扱いであるが、保管方法や指定について所有者と相談していききたい。山田早苗の『永久田家務本傳』についても所有者と相談し、検討していききたい。嶮谷先生之碑については、文献で書かれていたり、元の位置から移されているなどの経過も分かっていることから、指定に向けて、所有者の住吉神社に相談し、検討していく必要がある。

【委員】下山八幡神社の鳩の脚には、朱が残っているところもあり、3D画像の撮影技術を活用することも考える必要がある。

【委員】寺改戸遺跡出土の深鉢形土器、霞台遺跡出土の一括資料を市指定に取り上げたらどうか。

【事務局】内容を詰めて進めていききたい。

【委員】多摩高校のキンモクセイの樹齢はどれくらいであるか。

【事務局】樹齢100年ほどと聞いている。

【委員】梅郷の山桜について、現場を確認したが、樹木の樹齢はなかなか判断が難しい。幹廻りからおおよその樹齢を考えたりしたり、記録がある場合はそれを信頼する場合もある。キンモクセイは、三島大社に樹齢1200年と言われる国指定天然記念物がある。山桜は指定に向けて進められたら良い。

【事務局】承知した。

(4) その他

質疑・応答・意見

特になし。

4 次回の開催について

【事務局】 2月から3月ごろを予定している。

5 その他

質疑・応答・意見

【委員】 森下町の足立休哲の小祠があるが、小祠脇の斜面が崩れかかっているため、保護したいと考えている。

【事務局】 現在、土地所有者や地元関係者とも協議しながら、保全策について検討している。

閉会（事務局）